

日中サービス支援型共同生活援助 事業計画書

作成日 2024年9月11日

基本情報	法人名	ミナノワ株式会社	
	法人所在地	神奈川県川崎市川崎区東田町11-27-メットライフ川崎ビル6F	
	事業内容 (定款目的)	・障害福祉サービス事業 ・コンサルティング事業	
	設立年月日	2018年12月12日	
	代表者	役職	代表取締役社長
		氏名	大村 英壽
		生年月日	1983年10月19日
		住所	神奈川県川崎市川崎区藤崎4-32-4-2
担当者名	瑞木 真司		
連絡先	電話：080-4626-5095	メール：zuiki@minanowa.co.jp	
法人の他の障害福祉サービス事業の内容・状況 ※複数の事業所等がある場合、別紙にするか、本項目を複製して入力してください。	事業所名	別紙	
	サービス種別		
	事業所番号		
	指定年月日		
	事業所所在地		
	事業所情報	事業所名	クライスハイム茅ヶ崎萩園事業所(仮称)
事業所所在地		神奈川県茅ヶ崎市萩園1565-1	
最寄駅からのアクセス		茅ヶ崎駅より車で約15分 (周辺地図の添付)	
定員(共同生活援助)		20名	
定員(短期入所)		2名	
事業開始予定日		2025年 7月 (県の指定は毎月1日)	
実施方針・方法	本サービスの指定を希望するに至った経緯・実施地域選定の理由	《本サービスの指定を希望する理由》 近年、日本においては超高齢化に比例し、高齢障害者も増加しており、地域生活においても、家族介護者の要介護化による負担の増大、高齢化に対応した設備不足、経済的負担の増大、介護保険と障害福祉サービスの質の違いによる移行のしにくさ等、多くの課題が指摘されている中で、障害特性や個々の状態、ニーズに応じた包括的な支援の提供や、短期入所等をご利用頂くケースがある高い専門性を要する障害者への対応を行える共同生活援助を運営していきたく考えております。 《茅ヶ崎市にて行いたい理由》 茅ヶ崎市障害者計画を拝見し、障害に配慮したGHの整備等、生活の場の確保において、障害支援区分3以上の割合が75%と増加傾向にあり、その中でも区分5以上の割合が36.7%と高く、日中サービス支援型のGHを必要とする場面が増えてくると考え、障害福祉事業所として、ご満足いただけるホームを運営していきたく希望いたしました。	
	定員の設定理由 (GH、短期入所)	障害支援区分3以上の割合が増加傾向にあり、日中支援サービス型GHの需要が増加傾向にある為、受け入れ可能人数の最大であるGH20室、SS2室と決めました。	
	住居内で提供する日中サービス (日中をGH内で過ごす利用者に対して、どのような支援を行うのか)	《介護支援》・入浴支援(清拭・整髪)、食事支援、排泄介助(おむつ交換)、夜間巡視、身辺介助(体位交換・歩行介助・立位介助・移乗・衣類着脱・整容) 《GH支援》・通院同行、食事提供、余暇活動、緊急時対応、服薬支援、金銭管理、行政手続き代行等 《生活訓練》①料理：調理や盛り付け等、可能な限り一緒にやって頂く。②掃除：掃除を一緒に行うだけでなく、意味や頻度を説明しながら訓練していく。③洗濯：洗濯機の使用手法、干し方、畳みかたにおいて訓練していく。④栄養管理：偏った食事にならないよう、GHの食事を介して訓練を行う。⑤体調管理：自身の体調不良を発信できるよう訓練を行い、体調不良時に何科を受診するか、訪問薬局へ相談できるよう、訓練を行う。⑥金銭管理：自身で行えるよう訓練していく。(小遣い帳の運用訓練等)	
	地域生活の支援 (日中をGHで過ごす利用者が、地域との交流が希薄にならないための取り組みや、外出支援に対する考え。自治会との関わり方、ボランティアの受け入れなど)	GHは特に地域交流が必要であると考えております。 自治会への参加は勿論、障害があっても参加しやすい社協福祉祭りだけでなく、茅ヶ崎市内において催される湘南祭、ビーチ清掃等。 地域の方が参加される行事も積極的に参加させて頂きたく考えております。 地域ボランティアの関係機関とも連携を取り、交流を介し事業所に来て頂くだけでなく、地域清掃活動や環境美化活動にも積極的に参加させて頂き、健常者、障害者が分け隔てなく生活できる街づくりを目指して行きたいと考えております。	

	利用者の健康管理 (医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等)	≪協力医療機関の選定≫ 開所3ヵ月前に協定を結ぶ見込みとなります。 ≪訪問会議の選定≫ 月2回、健康管理に来訪し、健康な状態でいられるようにします。 ≪日々の健康管理について≫ バイタル測定の実施(異常時は上記選定先に相談予定)
	指定計画相談事業者との連携	障害者の住まいを提供する共同生活援助の障害福祉サービスについては他障害福祉サービス事業との連携は切っても切れない関係性となります。特に計画相談事業者とはご本人様の様子を踏まえて報告連絡相談をまいります。 また、空室になる予定の情報や見学等については計画相談へ電話や訪問、FAX又はDM等を用い情報提供を行い連携を図ってまいります。
建物情報	物件情報	・賃貸物件 ・木造 地上2階建て ・寄宿舍
	居室数	居室 22室 居室で一番狭い部屋 8.48㎡(収納設備を除く) 収納スペース ㎡
	食堂兼交流室	30.05㎡(キッチンスペース 含む)
	トイレ	6個(車椅子対応のトイレ 有)
	お風呂	4個(重度身体障害者対応 有)
	築年数(既存建物のみ)	年 月 (建物の不動産登記簿を添付)
	家賃	一人月額 50,000円 (全体家賃月額 1,000,000円)
	アスベストの有無	無
	アスベストの暴露の有無	(アスベストが有の場合記載)
	用途地域	第一種中高層住居専用地域
	建築基準法適合状況	確認中
	消防法適合状況	確認中
	ハザードマップの確認	確認中
	周辺環境 (通所事業所、スーパーなどの店舗情報)	徒歩5分圏内にコンビニ有り ホームセンター、ショッピングモール有り

職員配置	配置人員	管理者	1人	常勤換算	0.5人
		サービス管理責任者	1人	常勤換算	0.5人
		世話人	14人	常勤換算	4.5人
		生活支援員	8人	常勤換算	4人
	夜間支援体制	夜間支援従事者	14人		
	(内資格・研修修了者数)	未定			
サビ管の研修修了状況	更新				
看護師の配置	無	有の場合の配置状況 ( )			
従業員の育成方法	○採用時研修・・・入社後6か月以内 ・会社理念、ホーム概要、接遇マナー、苦情・緊急時対応、安全対策等 ○継続研修・・・年1回以上 日常業務におけるサービス提供の基礎技術を再確認する。またテーマを決め技術のスキルアップを図る。グループワーク等を中心に年1～2回程度予定 ○虐待防止研修・・・年1回以上 虐待とは何か、どういった行為が虐待にあたるのかなどを理解する。グループワークや、演習課題を用いて理解を深め虐待防止を徹底する。 ○外部研修への参加・・・不定期 職員に対し外部研修の情報提供を行う				

利用者予定	事業開始予定日	2025年7月1日		
	入居予定者の状況	入居予定者	未定( 2024年 9月 1日現在)	
	主たる対象者	全障害対象		
	区分等 (2024年9月1日現在)	身体障がい (合計 4人)	区分6 人、区分5 1人、区分4 2人 区分3 1人 (うち車椅子利用 1人・医療的ケア要 0人・GH 内で日中を過ごす 1人)	
		知的障がい (合計 10人)	区分6 2人、区分5 2人、区分4 5人 区分3 1人 (うち車椅子利用 1人・GH内で日中を過ごす 2 人)	
		精神障がい (合計 5人)	区分6 0人、区分5 2人、区分4 2人 区分3 1人 (うち高次脳機能障がい 1人・その他 0人、 GH内で日中を過ごす 1人)	
		難病等 (合計 1人)	区分6 人、区分5 1人、区分4 人 区分3 人 (GH内で日中を過ごす 1人)	
	受け入れの可否	重症心身障害者	可	
		医療的ケアを要する者	否	
		強度行動障害	可	
	日中の過ごし方	GH内で日中を過ごす利用者 5人 外部の日中活動サービス等を利用する利用者 15人		
ニーズ調査 (調査方法、見込みの積算方法)	茅ヶ崎市障害者計画を参照			

代表者会議【当日資料1-2-1】

短期入所	運用方法 緊急時の受け入れ態勢	緊急性が高く、空床がある場合は積極的に受け入れてまいります。
地元住民への説明	地元住民、自治会への説明方法、時期	工事開始前に建築会社様より、建物竣工時に弊社にて挨拶予定
制度理解	基準省令、留意事項通知を読みましたか？	はい
	GHの指定申請の手引きを読みましたか？	はい
	GH勤務経験や見学などで支援の現場を確認しましたか。	はい
地域及び支援機関との連携方法等 ※運営上のコンサルテーション等を受けている場合も記載してください。	機関名	連携方法・内容
	クライスハイム高田	緊急時のバックアップ
	訪問介護	月2回の健康チェック
	緊急医療連携先	緊急時の医療対応
その他	その他	上記は予定としております。